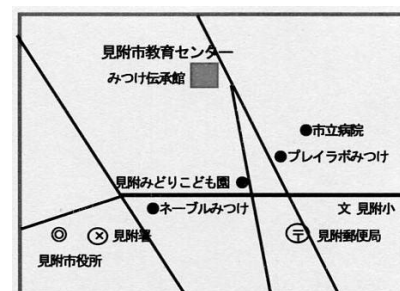


見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町 2 - 7 - 9

電話 / Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和 7 年 6 月 2 5 日 NO.3

今町小学校：6 月 3 日

「全校集会」の様子

ジブリ映画で学び続ける

学校教育課 課長補佐 宮田雅仁

ジブリ映画と言えば、皆さんは何を思い出すでしょうか？私は「魔女の宅急便」を思い出します。録画したVHSで何度も見直したり、DVDが販売されると購入したりして、これまでに52回見ました。何回も観ると、立場によって感じ方が変化していることに気がきました。子どもの頃は、空を飛ぶ魔法や言葉を話す黒猫などのファンタジー要素に心が惹き付けられました。親になってからは、子どもの成長を見守る親の気持ちに共感しました。



教師10年目の頃に、主人公が魔法を使えなくなってから立ち直るまでの心の変化の場面において、**困難を乗り越える力と周囲の支えの重要性**の示唆を得ました。直接的な魔法の練習ではなく、「自分自身と向き合う時間と、周囲の温かい支え」が、魔法を取り戻すために最も重要な要素だったと思っています。主人公が魔法を使えなくなったことで、自分の存在意義を見失い深く落ち込み、黒猫とも話せなくなり孤独を感じていました。そんな中、画家から「無理に飛ぼうとしても飛べないときがある」「絵を描くのも空を飛ぶのも、きっと同じ」とアドバイスをもらい、主人公は心を落ち着かせ、自分の心に向き合う時間をもちました。そして、友人を「助けてい！」という純粋で強い気持ちが、失いかけていた魔法の力を再び呼び覚ます原動力となりました。また、主人公が住み込みをしているパン屋の女将はパンの配達の仕事を与え続け、社会とのつながりを保てるように支えたり、一緒にパイを焼いた老婦人は粋なプレゼントをしたりしました。このような周囲の支えのおかげで、主人公は少しずつ元気を回復していきました。

私は学級経営や教科指導などにおいて、「聞くこと」「待つこと」を大切な視点としてきました。私の力不足からか、ただ話を聞いて寄り添うことしかできなかったことへの言い訳かもしれませんが、子どもが自分自身としっかり向き合い、子どもの意欲が醸成されるまで「待つこと」については、「魔女の宅急便」から得た示唆が大きいです。

立場が変わる度に新たな発見がある「魔女の宅急便」。これからも折に触れ見返すことで、人生の機微や教育における大切な視点を再確認し、日々の糧にしていきたいです。ちなみに、子どもの頃一番好きなジブリ映画は「となりのトトロ」でした。

巻頭写真に寄せて ―「校長先生に学ぶ！」―

◇師がく訪問が、6月3日(火)の今町小学校から始まりました。師がくは授業を参観して、より充実した授業になるように、授業者をサポートするものですが、授業に学ばせてもらうことが多く、私の学んだものを授業者に伝えているというのが正しいです。また、休み時間や給食時の様子を見せてもらい、子どもたちと触れ合えることが何よりも楽しみです。

◇さて、この日の昼休み、全校集会が開かれました。前田校長先生から「6月病について」のお話があり、梅雨の時季は心も体も重たく感じられ、「何となくやる気が出ない」「落ち込んでしまう」等、心が折れやすいので、そうならないために「自分の強みを見付けること」と話をされ、具体的に「仲良くできる」「学ぶことが好き」等『24個の強み』を自己評価させ、自分の強みを大切にしてほしいと結ばれました。最後に全員で元気の出る運動(巻頭写真)を行いました。この日の師がくは、校長先生からも大きな学びを得ました。

コラム 『良い授業で学ぶことが、一番の力量アップに』

◇家庭菜園をやっている。野菜作りの第一歩は土作りであり、適切な時期に種まきや苗の植え付けをすること。そして、水やりや追肥、支柱建て等、成長に合わせた管理をしていくが、手間がかかり、何か子育てに似ているように思える。トウモロコシやゴーヤ等は、種から育てるが、1か所に数粒ずつ種を蒔き、成長を競わせ一番良いものを残し、他は切り取る。この競わせることが植物の成長には欠かせない。

◇さて、教員には様々な研修があるが、一番の研修は校内研修だと考える。学校に若い教員が増えた。種に例えるわけではないが、互いの授業に学び合い競い合って成長をしてほしいものだ。さらに時間を見付け、力のある先輩の授業に学んでほしい。各学校には素晴らしい授業をされる先生がいる。ここで師がくで参観した先生を紹介する。

◇一人目は、3年算数の授業(右写真) I小学校のT先生。「3けたの引き算」で、繰り下がりのある筆算の学習を見た。今年度は「対話を通して話す力を高める授業」を目指しているという。引くことができない位があるとき、どうやったら計算できるかを図や具体物と関連付けて考えさせるとともに、子ども同士が話したり説明したりするように仕掛けていた。

◇二人目は、1年国語の授業を行うM小学校のH先生。下写真のように、子どもたちへの寄り添い方が凄かった。入学して2か月足らずのこの日、説明文「さとうとしお」を、読んだり書いたりして違いや同じもの等、分かったことを説明の基本文型で発表した学習であったが、子どもたちはとても集中していた。それは、H先生の一人一人の見取りと、包み込む温かな視線が子どもたちを授業から逃さないためである。

◇若い先生方、ぜひ二人の先生の立ち位置や視線や仕草、何よりも十分に練られた教材の分析を学んでほしい。先生が一生懸命だと、子どもたちも一生懸命に学びます。(こ)



4時から夢塾 「全ての教職員が理解することが大事」

第2回「4時から夢塾」を5月21日(水)に、中越教育事務所指導主事の茶谷明先生から「いじめの重大事案を生まない対応」のご指導を頂いた。指導を要約すると、「全教職員が、法、基本方針、重大事態ガイドライン、生徒指導提要进行を理解し、チェックリスト等を活用し、平時からの備えや重大事態発生時の対応等を迅速かつ適切に行えるようにすることの大切さ」を教えて頂いた。

＝ 指導内容 「いじめ防止対策の更なる強化」 ＝



茶谷 明 先生



1. 「重大事態ガイドライン」改訂の背景

- 重大事態発生件数が令和4年度に過去最多。学校と設置者の連携不足で対応の遅れ。事前の説明不足により調査開始後保護者とトラブル。事実関係の認定や再発防止策が読めない。⇒
 - ・重大事態調査への学校や関係者の対応をより明確化。
 - ・円滑で適切な調査の実施といじめ対策児童生徒や保護者に寄り添う対応の促し。

2. 「重大事態ガイドライン」改訂のポイント

- 重大事態調査の目的は当該重大事態への対応及び再発防止策を講ずることにある。
⇒適切な再発防止策を講ずることが、新たな重大事態の発生を防ぐことにつながる。
- ① 重大事態の発生を防ぐための未然防止・平時からの備えを記載
 - ・学校いじめ対策組織が、校内のいじめ対策に当たり平時から実効的な役割を果たす。
 - ・全ての教職員は、法、基本方針、ガイドラインと生徒指導提要(改訂版)を理解する。
 - ・学校全体でいじめの防止及び早期発見・早期対応に取り組むことが極めて重要。
 - ・いじめが犯罪行為と認められる時、学校は警察へ相談・通報を行うことを周知する。
- ② 学校等のいじめにおける基本的姿勢を追記
 - ・詳細な事実関係の確認、実効性のある再発防止策の検討等の視点が重要である。
- ③ 児童生徒・保護者からの申立てがあった際の学校の対応について追記
- ④ 第三者が調査すべきケースを具体化し、第三者と言える者を例示
 - ・調査組織の中立性・公平性を確認する必要性が高いもの。第三者の考え方の整理。
- ⑤ (加害児童生徒を含む)児童生徒等への事前説明の手順説明事項を詳細に説明
 - ・保護者と共通理解を図り進めることができるよう事前説明の手順、説明事項を記載。
- ⑥ 重大事態調査で、調査すべき調査項目を明確化



<参加者の声>・重大事態が年々増えていることに驚き、危機感を覚えしっかり学べた。
・全職員で重大事態について、共通理解の必要性を感じた。すぐに伝達講習を行いたい。
・全職員が法、基本方針等をしっかり理解しておく大切さが分かり、焦りを感じた。正しい理解が正しい対応を生む。丁寧すぎる位の対応が大事を、肝に命じて対応したい。
・学校では「そうなる前」の対応をしている。「おかしいな。何か抱えているな」という生徒の異変や問題行動を嗅ぎ取るセンスを磨くことも大切。新任教師に伝えたい。
・いじめに対して“平時”からの備えが大切だと改めて思った。対応の仕方については「丁寧すぎるぐらいの対応が、結果的に丁度良いぐらいになる」が強く心に残った。

4時から夢塾 「自己決定力を高めたい」

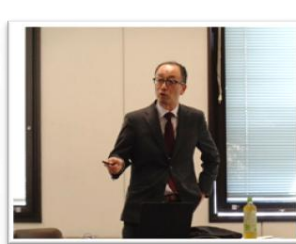
第3回は5月28日(水)に、三条市立第一中学校校の田村和弘校長先生からキャリア教育についてご指導を頂いた。指導を要約すると、学年に応じたキャリア発達課題を意識することで、関心や意欲の向上、夢や希望、憧れる自己イメージの獲得等に繋がることを教えて頂いた。



田村 和弘 先生

＝ 指導内容 「自己決定力を高めるキャリア教育」 ＝

- ◆自己決定力を「より自律的に物事に取り組む力」と定義し、この研修を進める。
- 自己決定力が低い状態…将来の夢や希望が描けない。高い状態にするには肯定的自己理解と自己有用感の獲得や興味関心等に基づく勤労観・職業観の形成等を図ること。
- 進路（キャリア）成熟とは…それぞれの発達段階におけるキャリア発達の状態。
 - ・キャリア発達は、社会で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現していく過程。
- キャリア教育の視点から授業をつくる…教科学習と生活や将来を繋げる。
 - ・面白く、今の生活に役に立ち、将来や人生のためになる授業。
- 小学生のキャリア教育はどうすればいいのか。（小学校段階でのキャリア発達課題）
 - ・自己及び他者への積極的関心の形成…人と関わって良かったという体験。
 - ・身の周りの仕事や関心・意欲の向上…施設・工場見学・商店街に行く。
 - ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得…仕事をするものの素晴らしさを感じさせる等。
 - ・勤労を重んじ、目標に向かって努力する態度の形成…道徳授業（勤労、公共の精神）
- 特別活動を要としつつ、各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図る。
- 総合的な学習の時間もキャリア教育・進路指導の大きな要素。
- キャリア教育の基本的方向性…幼児期教育から高等教育まで体系的に進める。
- 職場体験後に職業進路成熟が低下(これも成長)→キャリアカウンセリングを行う。
- ◎自己決定力はできることがたくさんあることが重要…できることを増やすこと。
 - ・あきらめて「あっさりとした決定」をしないよう、小・中ではできることを増やす。
 - ・選択肢を増やすことが自信につながり、自己理解を通して自己決定が生まれる。



- <参加者の声>・小学生は自己と他者との関わりを積極的にもつことからだと知った。関わりを大切にし、色々なことに意欲をもち、取り組む子どもを育てていきたい。
- ・小学生は自己決定力が低い子どもが多いので、内発的に取り組めるようにしたい。
 - ・楽しい学級を目指している。楽しさを個人・学級の単位で叶える活動を続けていく。
 - ・子どもと将来の話の機会がもてていない。キャリアパスポートを活用し話をしたい。
 - ・どんな活動も価値づけを行い、キャリアカウンセリングを通し、生徒に話していく。
 - ・キャリアプランニングの3観点。WILL、CAN、MUSTを大切に自己決定力を養っていく。
 - ・毎日の授業、教育活動をキャリア教育の視点で見つめ直すことが大切だと感じた。



6月

科学教育部



【7、8月の研修案内】

ゲストティーチャー要請事業

1	単元別研修会 【小6 てこのしくみと はたらき】	7月11日(金) 15:40~16:40	てこの単元を進めるポイントを確認し、てこを活用したものづくりを紹介します。クラスの数分のてこ実験器を作成していただくことも可能です。
2	野外研修会 【河川観察実習】	7月31日(木) 15:30~16:40 (雨天の場合は 中止) 集合：見附市教育 センター駐車場	「流れる水のはたらき」を実際の河川で観察します。また、見附市で観察できる地学単元での観察ポイントを紹介します。
3	単元別研修会 【小3 音を調べよう】	8月 8日(金) 15:40~16:40	音を可視化する方法の紹介や、音の単元で活用できるものづくりについて紹介し、実際にその場で作成していただきます。

※7月4日(金)に予定していました「単元別研修会【小4 月や星の動き】」は参加の希望がなかったため、今年度はこの研修会を実施しません。また、同じく、10月24日(金)に予定していました「単元別研修会【中2 電流と磁界】」についても参加の希望がなかったため、今年度はこの研修会を実施しません。

※研修会の申込については終了していますが、新たな参加希望がありましたら、見附市教育センター科学教育部まで、電話またはメールで申し込みをしてください。

要請研修会も受け付けております～教育センター科学教育部をご活用下さい～

- 研修会に参加したいけれど日程の都合がつかない。
- 理科を初めてもしくは、経験がない学年で不安がある。
- 実験の方法がわからない、予備実験でうまくいかない。

教育センター 科学教育部 担当：佐藤・榎田
TEL・FAX 62-2343
E-mail mrissen@mitsuke-ngt.ed.jp
C4thの個人連絡
「教育委員会 教育センター」

科学の公園

植物観察会 in 市民の森

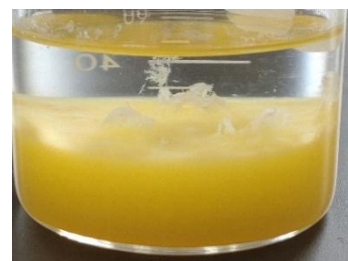
5月28日(水)に市民の森で実施した「植物観察会」では、市民の森に自生する植物を実際に観察しながら、上越教育大学の五百川教授から植物の形態の面白さや、身近な植物の活用方法について解説して頂きました。自然豊かな市民の森には、さまざまな花が咲いていました。お時間があるときに、ぜひ散策してみてください。



ヤマボウシの頭状花序を観察する様子

単元別研修会 中3「生物の成長・生殖」

6月6日(金)に実施した単元別研修会 中3「生物の成長・生殖」では、花粉管の伸長の観察や体細胞分裂の観察に適した材料や方法を確認し、100%オレンジジュースからDNAの抽出実験を行いました。参加者からは「ずっとうまくいかずに悩んでいた单元だったので、すぐ実践したいと思う内容でした。ありがとうございました。」という感想を頂きました。



100%ジュースから抽出したDNA

基礎技能研修会

見附市内の小学校で実施した基礎技能研修会では、初任者の先生方と理科の授業での安全管理のポイントを確認して、理科の見方・考え方を働かせながら、生物・地学・化学・物理の実習を行いました。参加者からは「理科は苦手な教科でしたが、久しぶりにやってみると、理科の面白さに気づけました。」という感想を頂きました。今回の研修が、理科の授業を行う際のヒントになれば幸いです。



理科の授業中の安全管理について話し合う参加者

第2回土曜子ども科学教室

6月14日(土)に実施した第2回土曜子ども科学教室では、見附市の里山で採集したムネアカオオアリを観察し、色付き粘土で模型を作った後に、レジン標本を作成しました。参加者からは「本物のアリが大きくてびっくりしました。」

「あまり虫は好きじゃないけど、アリのことをいっぱい知れて、楽しかったです。」

「普段、アリをじっくりと観察することはないので、大人にとっても良い経験でした。」

夏休みの課題にもできそうです。」という感想を頂きました。

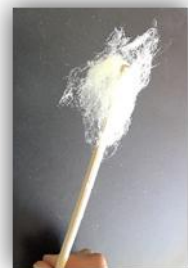
第3回は8月23日(土)に「音がビヨ〜ンと変わるストロー楽器」を予定しています。



色付き粘土でアリの模型を作る参加者

これからお祭りの季節～綿あめの科学～

7月24日(木)・25日(金)・27日(日)に見附まつりが行われます。お祭りといえば、民踊流し、花火、露店等を思い浮かべる人が多いと思います。露店で売られている「綿あめ」は砂糖を状態変化させてつくりま



す。ホットプレートと100円ショップの材料があれば、綿あめ機を自作することもできるので、自由研究のテーマにもできます。